しめきり
2月28日

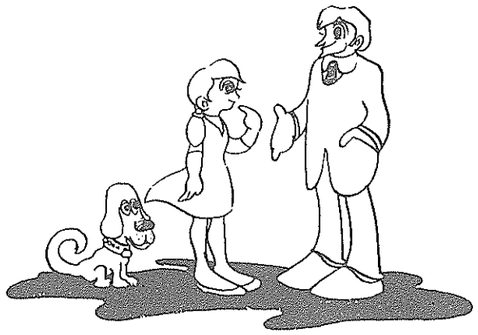
市政モニターを募集

住みよい町づくりへの参加

市政への勧告・批判・助言を

市政に対する建設的な意見、要望を聞くことによって世論の動向を正しくつかみ、これを市政に反映させることによって、市民の自治意識を高め、みんなが明るく住みよいまちづくりに参加しょう――。

市は、市政に対する勧告・批判・助言をしてもらう市政モニター三十人を募集している。



花子・市政モニターを募集するんだってね。

太郎・うん、広く市民の中から三十人ぐらいの人にモニターをお願いして、市政に対する提言をもらいたい。

ポチ・モニターというのは……。

太郎・市政に対する勧告者とか批判者、助言者という意味かな。

花子・ラジオ・テレビや民間企業などにその例が多いわね。また全国の都市でも多くの市が実施していると聞いているわ。市政をすすめていくうえで大切な役割りを果しそうですね。

太郎・モニターの個人的な意見はもちろんモニターを通して市政に対する建設的な意見、要望を聞くことにより、世論の動向を正しく把握し、これを市政に反映させることによって、市民の自治意識を高め、みんなが明るく住みよいまちづくりに参加する……。市民の集りということだよ。

花子・市民と市長の対話集会、市長への手紙など、やっているしやないの。

太郎・うん、対話集会、市長への手紙など、やっているけどね。しかし、これらの活動では特定の市民、地域にかたよることや複雑な問題についての具体的な意見を定期的に聞かれないという面があってね。これらの欠陥をおぎなうためのものさ。

ポチ・一人でも多くの市民が市政に参加し、市政に対する深い理解と協力をしていくというのは大切だな。その方法は、いろんなものがあるよね。

太郎・うん、市民の市政参加は公の場としての議会制度があるね。

また、市民と市長の対話集会や各種の市政こん談会、市長への手紙、行政相談、モニター制度などをとおしての市政参加もある。でも、市当局・市議会・市民が一体となって守り育てる地方自治こそ市民の都市づくり、住民の望む地域社会の発展につながるのではないかな。

ポチ・三十人以内というけど、どんなにして選ぶのかな。

花子・資格としては市民であることはもちろん、一応「国や地方公務員、または公職にある人」は遠慮していただくことになるでしょうね。

太郎・うん、そこで、建設的な意見をもち、各地域、職場の声を卒直に述べてくれる人で、地域、職業、年令、性別などを考えて市長がお願いすることになる。

ポチ・モニターになっての特権などはあるのかな。（笑い）

太郎・残念ながら、市政に意見を述べてもらうだけでね。（笑い）地方公務員としての身分をもつとか、特別の特権はない。

花子・四月からということになるでしょう。任期は一年……。

太郎・うん、一年として、次にはまた新しい人にかわってもらうのがいいだろうね。できるだけ多くの人が参加できるように……。続けて希望する人は、オピニオンリーダーとして市政に助言してもらうといいね。

ポチ・具体的には、どんな仕事をするのかな。

太郎・座談会、研修会などを年二回程度とアンケートに対する回答四回を予定している。あとは随時に意見を出してもらう。

花子・いくらかの報酬はあるのでしょうね。（笑い）

太郎・報酬というほどのものではないけど、年間七千円の予定。

ポチ・いつまでに、どこへ、何を出せばいいの。

太郎・二月二十八日がしめきり。申し込み用紙は企画財政課広報公聴係（三―二一一一内線四〇七）に電話していただければ郵送。おいでていただけるときは印鑑をもって……。

ポチ・出された意見やアンケートは、どのように処理されるのかな。

太郎・出された回答や意見などは関係各課に送られ、市が回答すべきものは回答、広報紙に大要を発表する。

また、その都度整理、集計、分析して市政モニター報告書をつくって市政運営の参考にしたり、市の基本計画、実施計画などに反映していきたいとしているね。

花子・できるだけ多くの人の希望があればいいのにね。

太郎・はじめてのことだし、不安もあるけど、成功させてほしいものだね。では、この辺で……。

農業センサスの調査

二月一日から全国いっせいに農業センサスが行われます。これは「農業の国勢調査」ともいわれる最も基本的、総合的な農業の統計調査です。

この調査で日本全体の農業農村の姿がはっきり表われ、村づくりの基礎となり、国・県や市のいろいろの施策、農業を発展さすための施策の基礎資料になります。

調査員が訪れたときは、ご協力をお願いします。なお、この調査は統計のためのもので、その他の目的、たとえば課税資料などには使われないことになっていますので、ありのままをお答えください。

幼稚園児の募集

瓶岩・白木谷両幼稚園の園児を募集しています。入園の対象は四月一日で満三歳以上の子供が対象です。

受付のしめきりは、二月十五日までに瓶岩・白木谷それぞれ希望の幼稚園、または教育委員会まで。

●きょうの話題・あすの話題

明るく笑顔で親切に

五十年へのスタート

一月四日は市役所の仕事始め、五十年の幕あけである。

まずは、市庁舎前に市職員、体育関係者、小中学生ら約百人が参加して〝体育はじめ〟スポーツ服に白の運動靴と健康がピチピチ。浜田体育協会副会長が「うさぎ年にちなみ、健康で脱兎の如く活躍しよう」とあいさつ。杉本市長も「健全な精神は健康な身体にやどるといわれる。一年中を健康ですごす決意をこめて、みんなで走ろう」と先頭をきって、ホップ・ステップ・ジャンプ。

体育はじめ（市役所前で）

新春の町へスタートした。

このあと、市職員を前に恒例の市長訓辞。

長身を演台にのせた杉本市長開口一番「ことしのスローガンは明るく、笑顔で、親切に……」職員は度胆を抜かれる。

「明るさを身体で表現するのは笑顔、行動に移すのは親切だ。四万三千市民のために、このことをつらぬいて仕事に打ち込んでほしい。」

冷酒乾杯して散会した。

昨年に増しての地方財政危機といわれる新春。明るい幕あけではないが、せめて市民とは「明るく笑顔で、親切に」がんばってもらいたいものだ。

サリドマイドの補償

このほど、サリドマイド訴訟の和解ができ、訴訟を起さなかった人たちにも、同じように補償されることになりました。

補償は、被害者から申し出があったあと、審査して行われます。サリドマイド禍の人（睡眠薬イソミン、胃腸薬プロパンMを飲み、四肢欠損症の子供が生れた人）は、二月二十五日までに、次のところにご連絡ください。

厚生省薬務局企画課・〒100東京都千代田区霞が関一―二―二

国税の還付申告

所得税・事業税などの確定申告は、二月十六日から三月十五日まで南国税務署で行われます。税金の還付を受けるための確定申告は二月十六日より前でも受付けています。早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。

入園願書は、幼稚園および教育委員会にあります。